



座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最高水面 (零位)
隆起量： 平均 -0.59m (-0.65m ~ -0.55m)
Zo： 0.86m
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

- 20~最大24.0m
- 10~20m
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満

○ No. 経時変化図出力点

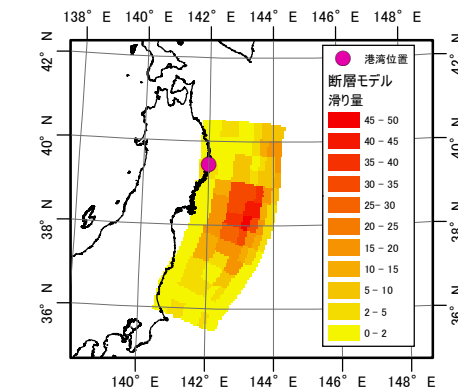
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

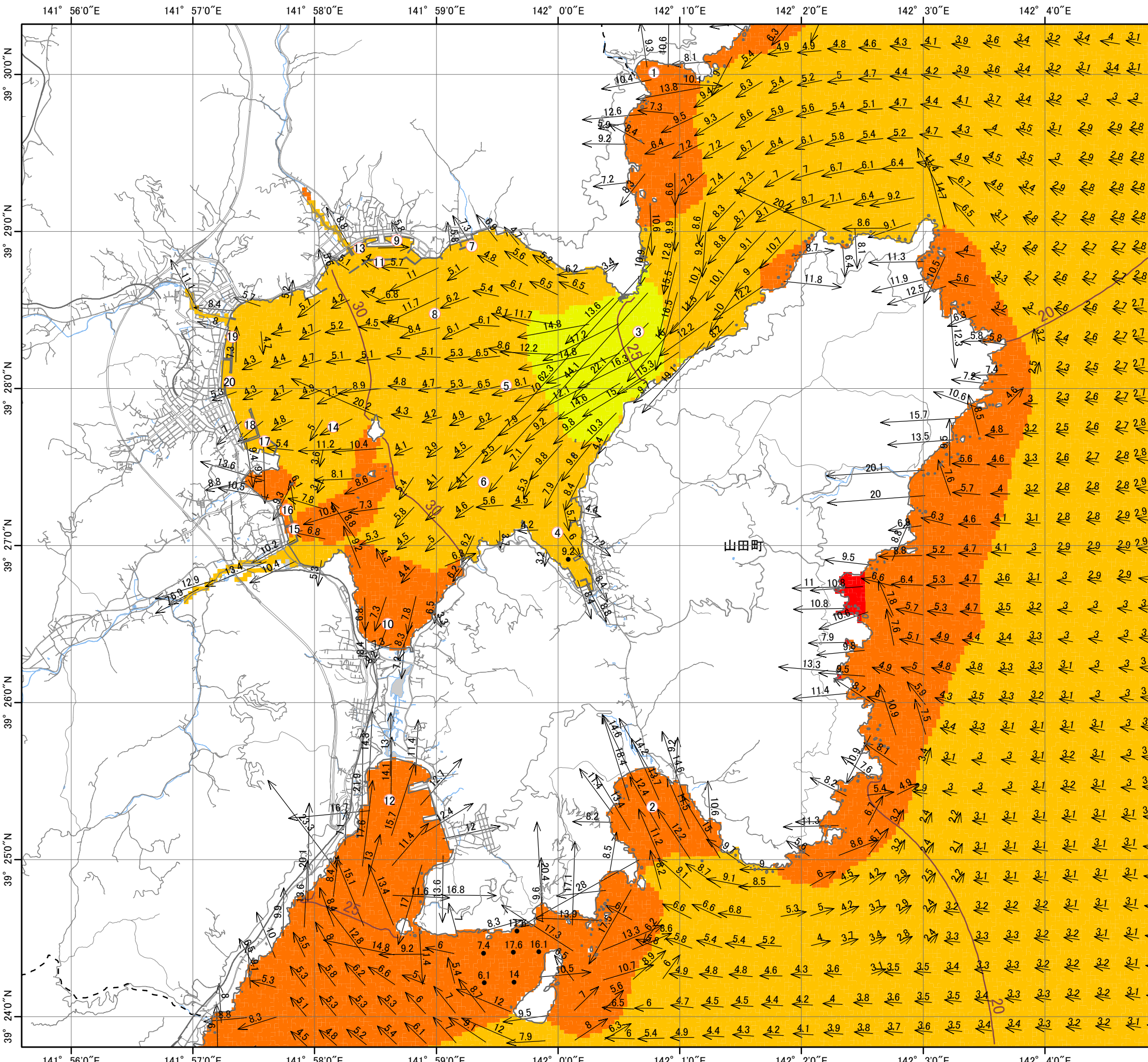
断層モデル



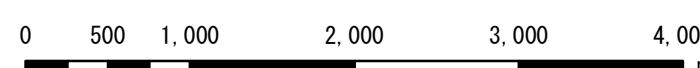
東北地方太平洋沖地震

モーメントマグニチュード Mw 9.0

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」(平成24年3月1日)により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び基礎地図情報(国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平30情使、第326号 平成30年6月27日)



作成機関：海上保安庁
 防災情報図作成年月：平成31年1月(初版)
 地形データ作成年月：平成30年3月(初版)